

知ると日本がもっと好きになる

# 京まなび

## 京都の大学による特別講座

**【受講無料】**

世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」京都。

今回、京都の11大学が「京あるき in 東京」のために

特別講座を開催します。

1講座から受講いただけますのでこの機会にぜひご参加ください。

【会場】 実践女子大学 渋谷キャンパス 創立120周年記念館 403教室  
(東京都渋谷区東1-1-49)

【開催日】 令和2年3月13日(金)・14日(土)・15日(日)

【主催】 京都市、(公財)大学コンソーシアム京都

【内容】 各講座の概要は中面をご覧ください。

【申込方法】 先着順

※ 受講証は発行しません。

※ 受講を希望する講座の開始時間前に会場にお越しください。

## 3月13日(金)

14:00~15:00

### ★京都ノートルダム女子大学 和歌でめぐる京都紀行 — 京都の地名を詠んだ名歌を味わう



京都(市域)には、多くの歌枕(歌に詠まれる地名)があり、万葉集から近代短歌にいたるまで歌人たちが数々の名歌を残してきた。本講座では、そんな中から何首かをとりあげ、写真なども見ながら京都各地をめぐる旅をしてみたい。併せて、京都ノートルダム女子大学の学生たちが制作した『京都百人一首歌かるた』も紹介する。

講師:堀 勝博(京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部 国際日本文化学科 教授)

15:20~16:20

### ★京都産業大学 京の庭と杉本氏庭園



「京の庭」と言えば、一番最初に思い浮かぶのは金閣寺や銀閣寺、龍安寺などのような寺院の名園なのではないだろうか。過去に属し、生活感のない場所である。

今回の講義では視点を变えて、京都の暮らしの中で生まれた京町家の庭を紹介しながら、日本庭園の長い歴史を再考する。

講師:マレス エマニュエル ベルナル(京都産業大学 文化学部 京都文化学科 准教授)

16:40~17:40

### ★花園大学 京都、臨濟宗と黄檗の風——伝統と革新——



木魚を使いお経を読み、坐禅時に警策を用い、12月には不眠不休の坐禅修行を行う——現在も行われる臨濟宗の伝統。これらは、どのように形づくられたのでしょうか。江戸時代の京都、鎌倉時代以来の日本禅に転機が訪れました。この問題は、京都文化のみならず、日本の文化形成を考えることにもつながるでしょう。

講師:小川 太龍(花園大学 文学部 仏教学科 専任講師)

## 3月14日(土)

14:00~15:00

### ★龍谷大学 京都の食文化 ~食育で京都のもてなしを伝える~



京都市立小学校で毎年6年生が保護者、教職員に感謝の気持ちを伝えるため、「お茶と手作り和菓子」でおもてなしをする会を町家で開催している。必要な「礼儀・作法」と「お煎茶の入れ方」を講師らが担っており、京都の食文化を踏まえ、日本文化を継承し、学校、保護者、地域との繋がりを深める食育授業を紹介する。

講師:野口 聡子(龍谷大学 短期大学部 子ども教育学科 准教授)

15:20~16:20

### ★大谷大学 平安京成立前史—都市史から見た山背遷都—



京都は、794年の平安遷都以来、一千年の歴史をほこりますが、それ以前(山背国の時代)の歴史は、あまり知られていません。また、古代の都は、遷都(遷宮)されるのが普通で、複数営まれることも多くありました。本講義では、古代の都市史について学びつつ、北山背の地に長岡京や平安京が遷都された経緯を考えます。

講師:大串 啓(大谷大学 講師)

16:40~17:40

### ★京都市立芸術大学 洛西地域の仏像をめぐる



京都市西部の洛西地域では多くの歴史ある寺社が護持されてきており、文化財指定を受けているところも少なくありません。とりわけ、宝菩提院願徳寺と勝持寺に伝来する仏像群は日本仏教彫刻史研究に欠かせない存在といえます。今回の講座では、それらのうち彫刻史上特に重要な像に焦点をあて、詳しく解説します。

講師:礪波 恵昭(京都市立芸術大学 美術学部 教授(専門:仏教彫刻史))

(敬称略)

3月15日(日)

10:00~11:00

★京都橘大学 京都のモダニズム建築



京都のモダニズム建築について歴史・意匠的な側面から解説する。モダニズムの思想、戦前の近代建築からモダニズム建築へと移り変わっていく三条通りの様子、戦後に建てられた「京都会館」等のモダニズム建築の事例について、建築家の言説や設計の過程などを交えながら、写真や図面・パースを用いて詳しく平易に論じる。

講師:河野 良平(京都橘大学 現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科 准教授)

11:20~12:20

★同志社大学 近世朝廷と京文化



応仁の乱により、京都は荒廃し朝廷はその機能を大きく失った。豊臣政権のもと京都は統一的復興をとげ、徳川政権には朝廷は安定を取り戻し、現在の京都になった。京文化も朝廷との関係の中で様々な姿に形成され、今日に至っている。私の専門である考古学を軸に、近世朝廷とその時代に形成された京文化の実相をみていきたい。

講師:浜中 邦弘(同志社大学 歴史資料館 准教授)

12:40~13:40

★京都大学 京都の伝統行事にみる自然資源の利用



京都には「五山送り火」や「鞍馬の火祭」など、身近にある自然資源を利用する伝統行事が数多く存在する。京都の森林は伝統行事を支える自然資源や空間を提供する場となり、利用に関わる様々な知識や技術が蓄積されてきた。京都の歴史的風土を形づくってきた伝統行事における自然資源の利用について、事例を用いて解説する。

講師:深町 加津枝(京都大学 准教授)

14:00~15:00

★京都造形芸術大学 京都の陶芸—河井寛次郎を中心に



河井寛次郎は大正から戦後まで活躍した陶芸家です。「民芸」の思想と出会い、そこから滋養を得てきわめて個性的な作品を生み出しました。河井は京都に居を構え、陶芸のほか、木彫、書画の制作や文筆活動も旺盛に行いました。講義では時代背景をふまえつつ、こうした多様な活動を紹介します。本講義が河井との良き出会いとなれば幸いです。

講師:三上 美和(京都造形芸術大学 准教授)

15:20~16:20

★立命館大学 藤原定家をめぐる政治と文化



藤原定家は鎌倉時代前期の歌人として有名です。後鳥羽上皇のもとで『新古今和歌集』の編纂にあたったことはよく知られています。最近この定家が写した『源氏物語』の「若紫」の古写本が発見され話題になりました。なぜ定家は『源氏物語』を書いたのか。その謎を当時の京都と鎌倉の政治と文化のなかで解き明かします。

講師:美川 圭(立命館大学 文学部 教授)

(敬称略)

## 【会場のご案内】



### 【アクセス】

■JR 山手線「渋谷駅」

東口から徒歩10分

■東京メトロ（銀座線、半蔵門線、千代田線）「表参道駅」

B1 出口から徒歩12分

※駐車場・駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

### ～ 大学講座に関する注意事項 ～

- これまで事前申込制としておりましたが、今年度は先着順といたします。
- 受講証は発行いたしませんので、受講を希望する講座の開始時間前に会場にお越しください。
- 各講座、定員は250名です。
- 席数に余裕はございますが、満席の場合は受講をお断りする場合がございます。その際は御了承ください。
- 御不明な点がございましたら、「京あるき in 東京 2020」事務局までお問合せください。



京あるき in 東京 2020 ホームページQRコード

### ～ お問合せ ～

「京あるき in 東京 2020」事務局 TEL: 075-256-2405 (平日10:00～17:00)